

「事実小説より…」 3

平山征夫

いよいよ天皇・皇后両陛下のお話をしよう。知事任期を四月残すだけとなった二〇一六年六月、新潟県への行幸が漸く実現した。これだけ行幸に時間が必要だったのに、その年の十月（私の知事任期の前日）に発生した中越大地震の激励のため、翌年行幸を頂くことになるのだが・・・当初二泊三日で佐渡にも御渡り頂き、朱鷺をご覧いただく日程を組んだが、手術後の経過順調とはいえ大事を取って佐渡は諦め、その分中越地区を加えることになり、私の出身

地柏崎もご視察頂くことになった。五〇〇年の昔から山奥にひっそり伝わる優雅な綾子舞を守る中学生を激励頂いたりした後、柏崎市内での昼食会となった。皇后陛下から「知事さん、この地方にはどんな方言がありますか」とのご質問。「代表的なのが『じよんのび』と『ばらこくた』です。じよんのびは寿命が延びる、あるいは丈、すなわち背中が伸びるの意味ともいわれ、温泉などに入ってゆったりした時などに『あー！じよんのび、じよんのび』と繰り返して言います」。

国体の開催します。その時には大きなバラの花をデザインして愛称を『おおばらこくたい』にしようかと・・・、ここまで話すと周りの本県関係者がくすくす笑い出してしまった。皇后陛下はすぐに察知され「知事さん、また何か面白いことを思いつかれたのですか」。そこで『ばらこくたい』の本当の意味を説明申上げた処「面白い言葉ですね。じよんのびは感じが良くわかりますね」と仰られた。

併せて情報や文化も運んできました。そのため一〇万人弱の人口の街なのに、地元新聞がいくつもあるうえ、商人たちが集めた素晴らしいコレクションがあります。コレクション・ビレッジで今柏崎は売り出しています」と概論を申上げ「岩下庄司の玩具コレクション『痴娯の家』、花田屋・吉田正太郎の文明開化ものを集めた『黒船館』、松田政秀の『藍民芸館』などがあります。またとんち教室で有名な柔道家・石黒敬七さんの雑多なコレクション『トンチン館』もあります。でもその館に入ったところには息子の石黒敬章さんが書いた『この父のコレクションの半分は勝手に持って帰ったり、

盗んできたりしたものです”と
言う説明書きが架かっています。

息子さんに言わせると天然ボケ
のような敬七さんは、例えば茶
碗など自分の気に入ったものが
あると他人の所有物でも握った
ら離さず、そのまま帰ろうとす
るので、つい”暫くお貸しして
おきます”ということになる。
コレクションの半分はこうして
集まった物であるというわけ
です”。

この説明が終わるや否や隣の
県議会議長で同じく柏崎出身の
Sさんが言った。「岩下さんのコ
レクションの方がもっと盗って
きた物が多いよ」。このままでは
柏崎のコレクションの信用が疑
われかねないと思い、話題を変

えることにした。「今、お話され

たS議長さんはカメラの腕は玄
人はだし、写真集を何冊も出さ
れていますが、同時に珍しいカ
メラのコレクターでも有名です”
と私。すると皇后陛下から「ど
んな珍しいカメラをお持ちです
か」とのご質問。S議長、嬉し
そうに自慢のカメラの2、3を
説明された。その説明が終わる
タイミングピシャリで天皇陛下
が仰った。「それも盗んできた物
ですか?」。これには一同大爆笑
した。皇后陛下も笑われた。
昼食会終了後、部屋の外で待
機していた宮内庁のお付の役人
さんからは、県の担当者「何
があつたのか」と繰り返し問い
合わせがあつたそう。こんなこ

とは珍しいのだそうだ。

この行幸の最後にもう一つオ
チが待っていた。新幹線で東京
に還幸される両陛下を長岡駅に
見送りにゆき、貴賓室で御挨拶
申し上げた。この場合はご苦勞
様と言う趣旨で両陛下が知事、
議長、駅長の三人をお呼びにな
りお礼の意味のお茶を振る舞わ
れるのだ。「ご行幸頂きましたこ
と、県民を代表して御礼申し上
げます。御戻りになられてもお
疲れが出ませんようごゆっくり
されて下さい」と代表して私が
申し上げますと、にこっとされ
て皇后陛下が仰られた。「知事さ
ん!じよんのび、じよんのびで
すね!」両陛下には一本取られ
た行幸だった。

「少しは品を取り戻せたかな」
と思いつつこの稿を終えること
としよう。

(平成二十九年八月十日)